

# JCI JAPAN TOYP 2020 エントリーシート

氏名*	中山 勇魚
フリガナ*	ナカヤマ イサナ
所属団体*	NPO法人 Chance For All
活動内容* (200 文字以内)	自らの経験を基に「家庭や環境で人生が左右されないためにはどうしたらよいのか」を考え始める。大学在学中に様々な環境の子どもたちや教育のあり方について学び、学童保育の指導員として現場で勤務する中で放課後の可能性に着目。卒業後は保育系企業にて新規園の開発に従事。その後、IT 企業で勤務しながら学童関係者とともに「子どもたちのための放課後」を実現するための準備を開始し、2014 年に「CFAKids」を開校。
活動カテゴリ*	<input type="checkbox"/> ビジネス・経済・起業 <input type="checkbox"/> 学術 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 倫理・環境 <input checked="" type="checkbox"/> 青少年育成・世界平和・人権 <input checked="" type="checkbox"/> 人道支援・ボランティア <input type="checkbox"/> 科学技術 <input type="checkbox"/> 自己啓発 <input type="checkbox"/> 政治・法律 <input type="checkbox"/> 医療革新 <input type="checkbox"/> その他( )
紹介者氏名 紹介者がいる方は記入	黒岩 和輝
紹介者所属団体	(一社)横浜青年会議所
JCI JAPAN TOYP を どこで知りましたか？*	<u>青年会議所会員からの推薦</u> (横浜青年会議所)・ホームページ・フェイスブック・チラシ・メディア( )・その他( )
紹介理由 (200 文字以内) ※紹介者がいる方は 記載をお願い致します。	中山氏は、現代の日本においても多くの子どもが貧困状態にあることに着目し、様々な家庭環境の中、放課後の過ごし方の充実によって子どもたちの学力や将来性の格差改善に取り組んでいます。このような活動は、JCI JAPAN TOYP 2020 の趣旨にも合致するため、紹介致しました。

顔写真\*



経歴  
(200 文字以内)

2013 年・・・NPO法人Chance For All 設立  
2014 年・・・CFAKids梅島校開校 日本財団より助成開始  
2015 年・・・CFAKids西新井校開校 NPO法人ETIC. 主催の「花王社会起業塾」に選抜  
2016 年・・・CFAKids千住校・曳舟校開校  
三菱UFJリサーチ&コンサルティング「ソーシャルビジネスプログラム」に選抜  
2017 年・・・CFAKids亀田校、六町校、綾瀬校開校  
2018 年・・・CFAKids押上校開校  
NHK,TOKYO MX,毎日新聞、朝日新聞、週刊ダイヤモンド、日経 DUAL その他教育紙等メディア掲載多数

活動PR1\*  
(200 文字以内)

**お金のある子もない子も  
課題を抱えていてもいなくても  
子どもたちみんなが豊かな放課後生活を  
過ごせるように**

CFA では貧困世帯や発達障害を抱える子だけを集めるのではなく「誰もが同じ場所で生活しながら、それぞれの成長を実現する」ことを大切にしています。それを可能にしているのが寄付によって支えられている「奨学制度」です。貧困家庭は保育料金だけでなく、食費、キャンプなどの参加費なども含めてすべて無料で利用できます。



<p>活動PR2* (200 文字以内)</p>	<p><b>放課後サービスではなく「保護者と共に子どもを育てる」</b></p> <p>今、放課後が二極化していると言われています。数百名もの子どもがひしめきあう「預かり所」となってしまった学童がある一方で、お金のある子は高いサービスを楽しむ。一方で核家族化や地域コミュニティの崩壊で保護者は自分たちだけで子育てをせざるを得ないため疲弊しています。わたしたちは子育てのパートナーとして保護者と一緒に成長を見守ることを大切にしています。</p> 
<p>活動PR3 (200 文字以内)</p>	<p><b>地域社会で子どもを育てる</b></p> <p>多くの地域で子ども会が廃止され、地域の祭りも参加者が減少して持続が困難になってきています。これは地域で働く大人が減少したことと無関係ではありません。その結果、地域の力が減少し、家庭だけで子育てする状況が格差の固定化を招いています。わたしたちは地域の大人たちと協力して地域のつながりや力を取り戻し、学校や学童を卒業しても地域で子どもたちを見守っていく社会の実現を目指しています。</p> 
<p>SDGsのゴールとターゲット番号及び結びつきの説明</p> <p><b>※SDGsの取り組みをしている方は記載をお願い致します。</b></p>	<p>番号の記入(1 貧困をなくそう) ( 1. 2: 2030年までに、各国定議によるあらゆる次元の貧困状態にある、すべての年齢の人の割合を半減させる。)</p> <p>結びつきの説明 世界と比較して豊かであると言われる日本においても貧困格差は存在しています。家庭や環境に依存せず地域で子育てを応援することで、どんな家庭に生まれ育っても人生が左右されない社会を実現します。</p>

■質問事項 (全200文字以内厳守)

<p>質問1* (200 文字以内)</p>	<p><b>活動を始めたきっかけを教えてください</b></p> <p>自身の家庭の事情で非常に厳しい生活を余儀なくされた経験から、「家庭や環境で人生が左右されないためにはどうしたらよいのか」考え始め、大学在学中に様々な環境の子どもたちや教育のあり方について学んだり、学童保育の指導員として現場で勤務する中で放課後の可能性に着目しました。</p>
<p>質問2* (200 文字以内)</p>	<p><b>この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか(ビジョン)</b></p> <p>生まれ育った環境によって子供たちの人生の可能性が閉ざされない、希望に満ちた人生設計が可能な世の中にしたいと思っています。今後、厳しい状況を迎える日本社会の中で子どもたちがやがて大人になった時に「自分も子どもを育てたい」と思えるような社会にします。</p>
<p>質問3* (200 文字以内)</p>	<p><b>未来を実現するために今行っている具体的な活動をお答えください(アクション)</b></p> <p>2014 年からCFAKidsを開校し「子どもたちのための放課後」を実現するための活動を行っています。</p>

	現代の子どもたちも、生まれ育った環境は異なりますが、放課後をめいっぱい楽しみ、遊びや勉強、友達との関係性などから人生にとって大切なことを全力で学んでいます。学校で学ぶこと以上に、小学生は放課後の時間から学んでいます。
質問4* (200文字以内)	<p>あなたの行っている活動は社会にどのような影響を与えていますか(インパクト)</p> <p>文部科学省の調査によれば、小学生のいじめはこの20年で約31.5倍、校内暴力の件数は約28.5倍に激増。また、千葉大学の木下研究室の調査によれば都市部の小学生で平日一度も外遊びをしない子は80%にのぼり、子どもたちの自己肯定感は諸外国に比べて圧倒的に低くなっています。短期間で非常に厳しい状況に追いやられてしまった子どもたちをとりまく環境を向上させることで地域社会、そして未来を担う人を育てます。</p>
質問5 (200文字以内)	<p>あなたの考えるリーダーシップをお答えください</p> <p>非営利活動は「金銭的利益」という共通言語なしに、受益者たる子どもたちだけでなく保護者や地域の方々、行政や企業など思惑の異なる多くのステークホルダーを巻き込んでいく活動です。そこで必要とされるリーダーシップとは「同じ夢を見せることができるか」だと考えています。お互いを見つめ合って対立するのではなく、共に同じ夢を見て未来へと向かう原動力となることこそが私の考えるリーダーシップです。</p>

■推薦者情報 推薦者がいる場合のみ記入

ブロック名*	神奈川ブロック
青年会議所名*	(一社)横浜青年会議所
担当役職*	ブランド戦略委員会 副委員長
担当者氏名*	伊澤 利晃
フリガナ*	イザワ トシアキ
推薦理由* (200文字以内)	中山氏は、現代の日本においても多くの子どもが貧困状態にあることに着目し、様々な家庭環境の中、放課後の過ごし方の充実によって子どもたちの学力や将来性の格差改善に取り組んでいます。このような活動は未来を担う子どもたちの無限の可能性を引き出し、自ら有意義な人生を切り開いていける子どもを育み、ひいては豊かな社会を実現するために非常に重要な運動であると考え、JCI JAPAN TOYP 2020の趣旨にも合致するため推薦致します。